

# みっつの“わ”

R.5. 4月号

No.1

河内長野市立長野小学校  
支援人権部発行

本校では、支援人権部から毎月1回を基本に通信「みっつの“わ”」を発行しています。  
みっつの“わ”とは、

「和」…平和でお互い思いやりのある和やかな生活

「輪」…人と人とのつながりを大切にするこ  
様々な機関との連携

「話」…コミュニケーションを大切にするこ



を意味しています。

毎年、新一年生を迎えたこの時期には同じ内容でお便りを出しています。  
今年度も、すべての人々が、楽しく充実した生活を送っていけるような社会を築き上げるた  
めの一助となることを目指して発行していきたいと思ひます。子どもたちにかかわっておられる  
すべての方にお読みいただけたらありがたいです。どうぞよろしくお願ひいたします。

## さまざまな学びの場

長野小学校には、さまざまな学びの場があります。今年度は、通常学級24クラス、  
支援学級（なかよし学級）9クラス、通級指導教室2教室が設置されています。

### 【通常学級】



すべての子どもたちにとって、分かりやすいユニ  
バーサルデザインを意識した環境整備、および指導  
を心がけて担任が行います。

集団の中では、さらに配慮が必要なこともあります。  
その時には、可能な範囲で通常学級においてで  
きる個別の配慮（合理的配慮）を行っていきます。

支援教育支援員等の入り込みによる支援を行うこ  
ともあります。

### 【支援学級】



長野小学校では、『なかよし学級』とよんでいます。  
通常学級での指導と、なかよし学級での指導を組み  
合わせて一人ひとりのニーズに応じた独自のカリ  
キュラムで指導を行います。

なかよし学級では、個別学習や小集団での学習を行  
っています。児童の発達段階に応じて、教科学習以前  
の学習の基礎を形成するために、自立活動として遊び  
や生活体験を重視して行っていくこともあります。

## 【通級指導教室】



通常学級での学習を主にしながら、通級指導教室では、言語・コミュニケーションや教科学習の基礎、行動面・対人関係面の課題について指導を行います。

通級指導教室での指導時間数は、本校の場合、週1～2時間程度になっています。児童の様子によっては、月1回の市の合同SST（ソーシャルスキルトレーニング）だけ参加する場合や隔週指導になることもあります。

校内での教育相談の結果、通級で支援を受けることで持てる力をより伸ばすことができると判断された

場合には、年度途中であっても、通級指導教室へ通うことができます。また、課題が達成された場合には、年度途中でも終了となります。

通級指導教室は、市内10の小学校に設置されています。放課後には、通級指導教室のない学校から通ってくる児童もいます。

## お子様の発達についてご心配なことがあれば…

保護者の皆様は、お子さまの将来を見据えて、学習、行動、生活面など、さまざまなことについての力をつけるために、どうしたらよいかと日々お考えいただいていることと思います。だからこそ、お子さまの成長過程において、色々ご心配や悩みが生じてくることもあるかと思えます。特に、一年生は、これまでの保育園や幼稚園と違って、本格的に学習を行っていくので、今まで気づかなかった課題が顕著に見えてくる場合があります。

そんな時には、学校の方にご相談いただけたらと思います。まずは、担任または教頭にご相談いただきましたら、必要に応じて、長野小学校内の支援コーディネーターやスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等とも連携しながら、ともに考えていくこともできます。



《支援コーディネーターメンバー》 井元真知子（養護教諭）  
飯森祐太（支援学級担任）  
成澤美里（支援学級担任）  
久保宣子（通級指導教室担当）

気軽に相談ください。

## 早期発見・早期支援の大切さ

「今の状態は、そのうち改善するだろう。」「もう少し様子を見てみよう。」と考えられることがあるかもしれません。小さい時には心配したけれども、成長していくと上手く社会に適応できたという例もあります。しかし、学校生活の間は、何とか乗り越えてきたけれど、就労に何度か失敗しているうちに、不適応が顕著になってしまったという例もあります。これまでの先人の研究から得られた「早期の気づき、早期支援をした方がよい」という知見から考えると、様子を見ている間に、適切な支援の時期を逸し、課題解決に多大な時間を要することにもなりかねません。「あの時、〇〇していたらよかった。」と後悔しないですむように、「今、できることは何なのか。」を一緒に考えていきましょう。